日本共産党
青森県議団便り
発行・日本共産党青森県議団
No.109

北限のサル（下北）

県民のみなさんへ

昨年は、大変お世話になりありがとうございました。昨年は憲法違反の「戦争法」が強行成立し、立憲主義・平和主義が踏みにじられる事態となりました。ぜひともこの「戦争法」廃止の新しい政府をつくるために皆様と共に頑張る決意です。

東京電力福島第一原発事故から今年で5年目を迎えます。収束とは程遠い事態でありながら、原発の輸出や再稼働を推し進めることは許されません。TPP、消費税10％増税は県民の願いに反します。

昨年の一斉地方選挙で得た日本共産党の3議席の力を大いに発揮し、今年も皆様と共に一層頑張っていく決意です。

二〇一六年一月

日本共産党青森県議団　すわ　益一
松安　はるみ
田藤　勝

12月定例会より

日本の立憲主義を取戻し、TPPからの撤退を求めて！

提案理由を述べる安藤議員（12月4日）

意見書の提出、再び共産党から

日本共産党3名と無所属議員の4名で「TPP交渉に関する意見書」「日本の立憲主義を取り戻すことを求める意見書」を提出しました。

政府は選挙での多数派で構成され、立法は最後には多数決で決められます。しかし「多数」が常に正しいわけではありません。憲法が国家を縛り、暴走を止めるのが「立憲主義」です。立憲主義の否定こそ、憲法の上に政府を置く独裁政治につながります。「安保法制」は、日本国憲法に真っ向から背く違憲立法で、廃止するしかありません。

国会決議違反は明らか

TPP参加国が10月5日に大筋合意しました。大筋合意内容は、米国・豪州産米合わせて7・8万トンの特別輸入枠の設定をはじめ、牛肉の関税を15年かけて38・5％から9％へ引き下げ、豚肉の関税1kg当たり最大482円から10年後に50円に引き下げなど農産品重要5品目の細目の3割で関税撤廃としています。

国会決議は、重要5品目については関税の撤廃だけでなく削減も行わない「除外」であり、これが満たされない場合は交渉からの撤退を明記しており国会決議違反は明白です。国会決議に違反する合意を撤回し、協定への調印・批准は行わないことを求めました。

自民党からの意見書は国会決議違反には一切触れられていません。

意見書の賛否

	○賛成	×反対	共産	自民	公明	民主	青和	無
TPPに関する意見書（大筋合意が前提）	採択	不採択	×	○	○	○	○	×
TPP交渉に関する意見書（撤退求める）	不採択	不採択	○	×	×	×	×	○
日本の立憲主義を取り戻すことを求める意見書	不採択	不採択	○	○	○	○	○	○

（無＝古村）

3県議そろって福島原発事故の現場視察

12月17日、福島原発事故現場。後方に見える青色は1基1、000tの汚染水タンク群。1、000基あり、3日に1基増やし続けていくことに。

12月17日、東京電力福島第一原子力発電所の事故現場の現状を視察しました。20キロ離れた場所にあるJヴィレッジで説明を受けバスで現場に向かいました。原発敷地内は手袋・マスク・個人線量計を身に着け構内専用バスに乗って説明を受けながら事故現場を視察しました。1～3号機は使用済み燃料を取り出すためのがれき撤去などが遠隔操作によってされていました。

また、毎日約300トンの地下水が建屋内に流入し高濃度汚染水が増え続けるためセシウムを取り除くアルプスという設備が3つも建てられていました。またトリチウムという核物質は取り除くことが出来ないため汚染水を保管するタンクが千個も立ち並んでおり、凍土方式の遮水壁の工事の様子も見てきました。1日7千人もの労働者が働いていました。

消費税10％増税には反対せよ

決算討論は共産党だけ

決算討論を行う松田議員（11月24日）

12月定例会初日、平成26年度の決算討論に松田議員が立ちました。討論は、松田議員だけで、賛成討論もなく、賛成理由がわかりません。

松田議員は、消費税増税後の県内の経済動向について、「緩やかに持ち直し」との答弁を批判し、「増税と社会保障の負担増は、県経済に深刻な影響をもたらしている、10％の増税に反対すべき」と述べました。

県境不法投棄産業廃棄物処理の行政代執行分に係る収入未済総額476億円のほとんどが回収不能になる可能性が大きいことが明らかになった。不法投棄を許してきたトップとしての知事の責任は不問に付すことはできないと主張しました。

八戸大橋不正塗装工事について、点検結果の報告、説明を告発した当事者に行うべきと要求しました。

私学助成について、県の上乗せを行うべきと主張しました。

八戸櫛引地区の産業廃棄物は全量撤去を

議案の一部反対討論

一部反対討論を行う松田議員（12月9日）

12月議会に提案された議案34件のうち、14件に反対し20件に賛成しました。その一部反対討論を松田議員が行いました。

櫛引地区産業廃棄物不適正処理対策事業費については、住民から強い不安の声が出されている。八戸市が中核市に移行するにあたり、県の産廃行政のつけを回さず、責任を持つべきと述べ、今回の代執行で、全量撤去への道を阻むことは容認できないと主張しました。

「風俗営業等の条例改正」については、不必要な規制の拡大であり、反対だとの意見を述べ、県警による職権の乱用をいましめ、営業の自由を侵害しないよう要望しました。

種差少年自然の家に指定管理者を導入する件については、少年自然の家を教育的施設として、運営の教育力の低下が心配されると指摘し、公の施設の管理運営を民間企業に任せること自体間違っていると述べました。

原子力人材育成・研究開発拠点施設の新築工事と設備工事については原子力行政を推進するものであり、反対を表明しました。

商工労働観光エネルギー委員会から

昨年4月の新幹線開業でそれまで関西圏中心の観光客に加えて、東京・東日本方面のお客さんが増え、大にぎわいの金沢駅で駅長さんの説明を受けました。（11月5日）

環境厚生委員会から

11月3日から6日まで国立病院機構九州がんセンター、山口県庁、山口県立萩美術館・浦上記念館（写真）、宇部テクノリサイクルセンターを調査してきました。

建設委員会から

12月議会終了後、建設委員会は、県内の河川、道路、砂防等の整備を求めて政府への要請を行いました。（12月10日、津島政務官へ要請書を手渡す。中央がすわ議員）

12月16日、福島県双葉町の帰還困難区域に入る3県議。通行止めのフェンスの向こうに「原子力明るい未来のエネルギー」の看板がある。

（1面からのつづき）

議案・請願の賛否

	○賛成 ×反対	共産	自民	公明	民主	青和	無
ゆきとどいた教育を求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○
私学助成などの拡充を求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○
青森県私学助成についての請願	採　択	○	○	○	○	○	○
三協リサイクル産廃の全量撤去を求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○
平成27年度一般会計補正予算（第2号）案	採　択	×	○	○	○	○	×
風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律施行条例	採　択	×	○	○	○	○	×
工事の請負契約の件2本（原子力人材育成・研究開発拠点施設）	採　択	×	○	○	○	○	×
指定管理者の指定の件（県立種差少年自然の家）	採　択	×	○	○	○	○	×
市町村に負担させる金額の決定の件	採　択	×	○	○	○	○	×
県公安委員、県公害審査委員の任命の件	採　択	○	○	○	○	○	○

（無＝古村）

県議団だよりと県政へのご意見をお寄せ下さい

【県議会控室】青森市長島1－1－1（西棟1F）　☎017－722－1111（内線5522）017－777－7842（直通）（FAX）017－777－7674　E-mail：aomorikengidan@isis.ocn.ne.jp